

# 第75回 四国高等学校陸上競技対校選手権大会

## 競技注意事項

(鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム)

### 1. 競技規則について

本大会は、2022年日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

### 2. 練習について

- (1) 練習は、指定された練習場所を使用、プログラム記載の「練習会場使用日程」に従い実施すること。
- (2) 主競技場内での練習は競技役員の指示に従って行い、補助競技場については練習会場係の指示に従うこと。特に、投げき練習については、監督の付き添いのもと事故防止に努めること(選手のみの練習は認めない)。
- (3) 棒高跳の練習については、大会当日 8:00から主競技場内を使用することができる。

\* 詳細は 16. 練習会場使用日程に記載

### 3. 招集について

- (1) 招集所は第3コーナーから第4コーナースタンド(北側サイドスタンド)下に設ける。招集所へは第4ゲート側のスタンド外側にある出入口から入場し、招集完了後、招集所から第3ゲート側の出入口を通り、競技場内への入場は第3ゲートからとする。なお、競技終了後に競技場外へ退場する場合は競技役員の指示に従うこと。
- (2) 招集完了時刻は競技時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種目	予選		決勝	
	招集開始 (点呼開始)	招集完了 (移動開始)	招集開始 (点呼開始)	招集完了 (移動開始)
トラックの部	30分前	20分前	30分前	20分前
フィールドの部(棒高跳を除く)			50分前	40分前
棒高跳(男子)			1時間 50分前	1時間 40分前
棒高跳(女子)			1時間 20分前	1時間 10分前
混成競技			25分前	20分前

\* 招集時刻(競技開始時刻)は組により異なる。

- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとして処理する。

#### (4) 招集の手順

- ① 競技者は、招集開始時刻に、招集所競技者控所で待機し、点呼を受ける。その際、競技者係にアスリートビブス・スパイク・衣類・持ち物等の確認を受ける。
- ② 2種目を同時に兼ねて出場する(競技終了時刻と次種目の招集開始時刻が重なる)競技者は、あらかじめ本人または代理人が競技者係(招集所)に2種目同時届けを提出する。(2種目同時届けは TIC で受け取る)
- ③ リレー競技に出場するチームは、TIC でリレオーダー用紙を受け取り、必要事項を記入し、各ラウンドとも当該組の招集完了時刻の1時間前までに競技者係(招集所)に提出すること。また、次のラウンドにおいても予選に準じて行うこと。
- ④ 欠場する場合は、招集開始時刻までに競技者係(招集所)に欠場届を必ず提出すること。  
(欠場届は TIC で受け取る)
- ⑤ 混成競技は、第1日目・第2日目とも第1種目は競技者係が招集所にて招集するが、それ以降の種目については、混成競技係が混成競技控え場所で点呼・確認後、各競技場所に誘導し、担当審判員に引き継ぐ。(混成競技控え場所は「メインスタンド1F 雨天練習室(第4ゲート付近)」とする。)
- ⑥ 競技者控所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

### 4. 競技について

- (1) 競技者は、当該種目以外グラウンド(競技区域)内に立ち入ることはできない。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (3) トラック競技において、欠場者がでた場合はそのレーンを空けて行う。
- (4) トラック競技(セパレート種目)において、8名(8チーム)以内の場合は2~9レーン、9名(9チーム)の場合は1~9レーンで行う。
- (5) トラック競技の計測は、全て写真判定装置(全自動電気時計 1/100)で行う。
- (6) 4×100m リレーの第2・第3・第4走者は、主催者が用意するマーカー(1カ所)を使用することができる。そのマーカー以外は使用してはならない。

- (7)  $4 \times 400m$  リレーの第3・第4走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ順に内側より並ぶこと。コーナートップとは、第3コーナー内側に示された黄色旗を通過した時点のことである。この後は、並んだ順序を変えてはならない。なお、次走者は、マークオーバーボーンの内側より走り出さなければならない。
- (8) 跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマークを、2カ所置くことができる。マークはそれぞれの審判員が現地で渡す。それ以外は使用してはならない。(走高跳の競技者は、助走路に主催者が用意したマークを、2カ所置くことができる。)
- (9) 三段跳の踏切板は、男子は 11m、女子は 9m 地点に設置する。
- (10) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することは助力と見なされるため、あらかじめ学校関係者等に預けること。  
(TR6.3)
- ※以下行為は助力と見なされません  
競技者本人が携帯もしくは着用して使用する心拍計、速度・距離計、ストライドセンサー、その他の類似の機器の使用。ただし、他者との通信が使用不可能なものに限る。
- (11) スタートについては、2022年日本陸上競技連盟競技規則に準ずる。

## 5. 競技用シューズについて

スパイクの長さは 9mm をこえてはならない。また、走高跳およびやり投の場合は 12mm をこえてはならない。これらのスパイクの直径は、先端が 4mm 以内でなければならない。また、スパイクの数は 11 本以内であれば何本でもよい。

シューズの靴底(ソール)の厚さについて(TR5.2 TR5.13)

- a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
- b トラック種目について、800m未満の種目(ハーダル種目、 $4 \times 100mR$ 、 $4 \times 400mR$  を含む)は 20mm 以下、800m 以上の種目(障害物競走を含む)は 25mm 以下とする。ただし、競歩については 40mm 以下とする。
- c フィールド種目について、三段跳以外の種目は 20mm 以下、三段跳は 25mm 以下とする。また、シューズ前部の中心点のソール厚さは、シューズかかと部の中心点のソール厚さを超えてはならない。

※日本陸連競技規則に準ずる。

## 6. アスリートビブスについて

アスリートビブスは指定された大きさ(縦 16cm × 横 24cm)で、ユニフォームの胸部と背部に付けること。その際、折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでもよい。また、トラック競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、パンツの左右後方に付けること。

また、3000m 以上の種目と  $4 \times 400m$  リレーの第2・第3・第4走者、混成競技の最終種目については、主催者の用意したアスリートビブスを招集所で受け取り胸部に付けること。

## 7. 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグ類を持ち込む場合について

陸上競技ルールブック 2022「競技会における広告および展示物に関する規定」の通りとする。

以下「抜粋」

### (1) 上半身の衣類

a) ウインドブレーカー・Tシャツ・トレーナー類

製造会社名／ロゴ: 1箇所

文字の高さ 5cm 以内、トータルのロゴの高さ 5cm 以内で  $40cm^2$  以内の長方形。

b) ランニングベスト・レオタード

製造会社名／ロゴ: 1箇所

文字の高さ 5cm 以内、トータルのロゴの高さ 5cm 以内で  $40cm^2$  以内の長方形。

### (2) 下半身の衣類

製造会社名／ロゴ: 1箇所

文字の高さ 5cm 以内、面積  $40cm^2$  以内。

### (3) ソックス

製造会社名／ロゴ: 1箇所 高さ 3cm 以内、面積  $6cm^2$  以内。

### (4) バック

製造会社名／ロゴ: 2箇所 面積  $40cm^2$  以内。

### (5) その他の衣類(帽子・サングラス・手袋など)

1つに付き 1 箇所: 面積  $6cm^2$  以内。メガネ・サングラスなどは 2 箇所まで表示することができる。

### (6) 商標違反時の対応

着替えさせる(裏返しに着させる)・テープを貼って隠す。

## 8. 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技のレーン順、ならびに跳躍・投てき競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても、その競技会のリレーまたは、他の競技種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち、少なくとも2人は当該リレー種目に申し込んだメンバーでなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。
- また、リレー競技に出場するチームは、同一のユニフォームで参加しなければならない。
- (3) トラック競技においてプラス出場者を決める場合、その最下位で同成績(判定写真を拡大し、細部まで読み取り着差を判定し、着差がない。)がでた場合は、下記の方法で決定する。
- ① 100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mR 競技の場合  
同成績者については、次のラウンドへ進むことができる。レーンに余裕のない場合は、同成績者または、代理人によって抽選する。
- ② ①以外の種目の場合  
同成績者については、すべて次のラウンドに進めることとする。
- \*全国大会出場者の選出はこの限りでない。

## 9. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用「ポール」以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、「やり」については、通知した競技場備え付けの投てき用具リストに無いもの及び、2個以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。希望者は招集開始時刻1時間前から招集開始時刻まで(混成競技は競技開始の1時間前まで)に、TICにある「投てき用具検査申請書」に必要事項を記入し申し出ること。ただし、検査に合格した用具については、「預り証」を発行のうえ一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げた用具は、その選手を含むラウンド(予選1組または予選2組または決勝)の競技終了まで競技場で預かる。そのラウンドの競技終了後にTICで返却する。なお、借り上げた用具が破損しても責任を負わない。
- (2) 練習用として個人の用具は主競技場に持ち込んではならない。

## 10. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

走高跳	男子	1m70(練習) 1m75 1m80 1m83 1m86 1m89 1m92	以降 3cm
	女子	1m40(練習) 1m45 1m50 1m53 1m56 1m59 1m62	以降 3cm
棒高跳	男子	3m20、4m00、4m40(練習) 3m30 3m50 3m70 3m90 4m00 4m10	以降 10cm
	女子	1m90、2m50、2m80(練習) 2m00 2m20 2m40 2m60 2m70 2m80	以降 10cm

- (1) 走高跳・棒高跳の決勝で最後の一人になり優勝者が決まるまで、上記のバーの上げ方とする。
- (2) 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm 単位とする。なお、全国大会出場決定のための順位決定も行う場合がある。(上位6位の選出を行う)

## 11. 混成競技におけるバーの上げ方

走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。但し、状況により変更する場合がある。設定より低い高さを希望する場合は練習開始前に申し出ること。(男子 1m50・女子 1m20までは 5cm 単位でバーを上げる。)

男子8種	1m45(練習) 1m50 1m53 1m56 1m59 1m62 1m65	以降 3cm
女子7種	1m15(練習) 1m20 1m23 1m26 1m29 1m32 1m35	以降 3cm

## 12. 競技場の入退場について

- (1) 競技者の入退場は、係員の指示に従うこと。

## 13. 表彰およびインタビューについて

- (1) 各種目第3位までの入賞者はユニフォームまたはチームジャージで表彰式に出席すること(下半身はジャージ等が望ましい)。その際、入賞者は決勝終了後すぐに入賞者控え場所(メインスタンド1F正面玄関ロビー内)で待機し、係員の指示を受けること。
- (2) 入賞者のインタビューは、入賞者控え場所で行う。
- (3) 入賞者の得点は、1位8点、2位7点、3位6点……8位1点とする。
- (4) 男子・女子それぞれ最優秀選手の表彰を行う。
- (5) 表彰式はメインスタンド2F ロイヤルボックスで行う。

#### 14. 提出書類について

下記のとおりとする。すべてTICで受け取ること。なお、TICは競技場正面入口付近に設置する。

**招集所および TIC の業務開始時刻は 8 時 00 分とする。**

	提出書類	提出先	提出時間
1	欠場届	招集所(競技者係)	招集開始時刻まで
2	2種目同時出場届	招集所(競技者係)	第1種目の招集開始時刻まで
3	リレーオーダー用紙	招集所(競技者係)	当該組招集完了時刻の1時間前まで
4	アップライト等申告書	招集所(競技者係)	招集開始時刻に
5	投てき用具検査申請書	TIC	招集開始時刻までに
6	抗議申し立て(口頭)	TIC	注意事項 16「抗議と上訴について」参照
7	上訴申立書(文書)	TIC	注意事項 16「抗議と上訴について」参照
8	記録証交付願	TIC	競技終了後隨時
9	プログラム訂正届	TIC	

#### 15. その他

- (1) 大会期間中競技場で発生した傷害や疾病はメインスタンド1Fの医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。感染症の疑いがある症状の場合は医務室での処置は一切行わない。この場合は引率責任者(顧問)が責任を持って対応する。
- (2) 更衣は第二競技場の更衣室を利用することができる。ただし、貴重品は各自で保管すること。
- (3) 記録証の交付を希望する競技者は、TIC に交付料金500円を添えて申し込むこと。
- (4) 記録は主競技場メインスタンド2F 中央の記録掲示板に掲示する。
- (5) 競技場内でテントを張れる場所はバックスタンド 2 階通路より上の場所に限る。横断幕・部旗・のぼり等については、メインスタンドを除くスタンド最上段とする。ただし個人名入りの横断幕等は禁止する。
- (6) ポカリスエットスタジアム、第2陸上競技場での傘の使用については、雨天時以外の使用は認めない。雨天時に関しては通行や観戦、競技の妨げにならないこと。ただし、ポカリスエットスタジアムの観戦エリア(座席エリア)の、中央通路よりも上段の座席で観戦する場合は、日傘の使用を認める。(バックスタンドでの使用は一切認めない)
- (7) その他の詳細については事前監督会議で説明する。

\*この注意事項は、監督会議で決定した事項により変更する場合がある。

#### 16. 抗議と上訴について(TR8)

- (1)競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから 30 分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では 15 分以内)に、審判長に対して口頭でなされなければならない。(大型スクリーン表示終了時刻を基準とする。)抗議者はTICを通して抗議担当総務員に申し出ること。
- (2)抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上告する場合は、当該競技者の監督により、預託金 10,000 円を添えて「上訴申立書」をTICを通してジュリーに提出されなければならない。なお、「上訴申立書」の提出時刻は、その種目の結果が変更されない場合は正式発表から 30 分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では 15 分以内)に、または、その種目の結果が変更されなかつた場合は抗議者に対して、その旨が通告されてから 30 分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では 15 分以内)とする。

## 17. 練習会場使用日程

	6月17日(金)	6月18日(土)	6月19日(日)	6月20日(月)
主競技場	11:00～17:00 トラック競技 跳躍競技 13:00～16:00 やり投 (1.2 レーン)周回練習 (3.4.5.6 レーン)jog 以外 (8.9 レーン)ハートル	7:30～9:30 トラック競技 跳躍競技 (8:15～9:00 使用禁止)	7:30～9:00 トラック競技 跳躍競技	7:30～9:00 トラック競技 跳躍競技
第2陸上競技場	トラック:11:00～17:00 (1.2 レーン)周回練習 (3.4.5.6 レーン)jog 以外 (7.8 レーン) ハートル練習 メイン走路 9 レーンハートル練習 * 投擲練習中走路規制有 * 400mHは第1曲走路から第2曲走路の間に限り5・6 レーンを使用してもよい	トラック:7:30～17:30 (1.2 レーン)周回練習 (3.4.5.6 レーン)jog 以外 (7.8 レーン) ハートル練習 メイン走路 9 レーンハートル練習 * 投擲練習中走路規制有 * 400mHは第1曲走路から第2曲走路の間に限り5・6 レーンを使用してもよい	トラック:7:30～17:30 (1.2 レーン)周回練習 (3.4.5.6 レーン)jog 以外 (7.8 レーン) ハートル練習 メイン走路 9 レーンハートル練習 * 投擲練習中走路規制有 * 400mHは第1曲走路から第2曲走路の間に限り5・6 レーンを使用してもよい	トラック:7:30～15:00 (1.2 レーン)周回練習 (3.4.5.6 レーン)jog 以外 (7.8 レーン) ハートル練習 メイン走路 9 レーンハートル練習 * 投擲練習中走路規制有 * 400mHは第1曲走路から第2曲走路の間に限り5・6 レーンを使用してもよい
辅助競技場	フィールド:11:00～16:30 跳躍競技 砲丸投 ハンマー投 13:30～15:00 円盤投 15:00～16:30	フィールド:7:30～17:00 跳躍競技 砲丸投 ハンマー投 8:00～9:10(女子) 11:00～12:10(男子) 円盤投 12:15～13:30(男子) 13:30～14:40(女子) やり投 15:10～16:30	フィールド:7:30～17:00 跳躍競技 砲丸投 円盤投 8:00～9:10(男子) やり投 10:30～11:40(女子) 14:40～16:00(男子)	フィールド:8:00～11:50 跳躍競技 砲丸投 男やり投 8:00～11:40

\* 補助競技場の用具使用は16時30分までとします。

\* 上記、補助競技場の投擲練習時間については、フィールド内の規制を行い、投擲練習を優先する。

審判員の指示に従い、全ての競技者は安全に留意すること。

(補助競技場・雨天練習場の使用について)

① 補助競技場の使用について(レーンの使用については以下の通りである。)

- ・1～2レーンは、周回練習のみ使用可とする。但し、1レーンはトライアル、2レーンはジョグ練習とする。  
(集団ジョグは不可。)
- ・3～6レーンは、短距離、リレー練習を優先する。
- ・7～8レーンは、400mHを優先する(大会2日目まで)。
- ・テント等を設営しての独占的な使用をしない。

② 雨天練習場の使用について

- ・ピストルの使用は禁止する。
- ・シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ・ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。  
それ以外は補助競技場で行うこと。
- ・第1ゲートから第2ゲート下雨天走路【スパイク禁止】  
……同一方向走行とする。
- ・バックスタンド下雨天走路練習場【スパイク可】  
……同一方向走行とする。(当日練習会場に掲示)
- ・ハートルは使用できない